

## 感染症の予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）																												
年齢及び性別	1才・女性	職業	なし																										
住所	多気郡																												
発病年月日	平成30年11月19日																												
診断年月日	平成30年11月26日																												
<p>（患者発生の経過）</p> <p>11月19日 嘔吐、下痢の症状がみられ、伊勢市内の診療所を受診した。</p> <p>11月20日 発熱（38.8℃）、下痢の症状がみられ、再び同診療所を受診した。</p> <p>11月22日 徐々に症状の軽快がみられた。</p> <p>11月26日 11月20日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>11月27日 患者に症状はありません。</p>																													
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（松阪保健所）</p>																													
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> <th>平成29年</th> <th>平成30年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>39</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>58</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>42</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成30年1月1日～平成30年11月27日現在まで本件含む  平成30年内訳 患者：O157（25人）O26（3人）O111（1人）O121（1人）  O165（1人）  保菌者：O157（15人）O121（2人）不明（1人）</p>							平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	患者	39	27	29	29	31	保菌者	19	10	15	13	18	計(感染者)	58	37	44	42	49
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年																								
患者	39	27	29	29	31																								
保菌者	19	10	15	13	18																								
計(感染者)	58	37	44	42	49																								
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す）  この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。  肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。  ひき肉は、十分に加熱をしましょう。  焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。  井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない）  調理した食品はすぐに食べましょう。  冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない）  手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																													